

令和3年1月26日開催

石狩市教育委員会会議（1月定例会）資料

<協議事項>

- ・石狩市学校施設長寿命化計画（原案）について 別 冊

<報告事項>

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査の実施について 別 冊
- ・令和2年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の実施結果について
. P 1～P 3

石 狩 市 教 育 委 員 会

<報告事項②>

令和2年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の実施結果について

令和2年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」報告		次長班																								
期日	令和2年12月28日(月)～令和3年1月17日(日)																									
方法	オンデマンド方式 ・7名の主幹教諭が、今日的なテーマに基づいて約15分間の講義内容を映像記録化し、指定するアドレスからダウンロードして受講する方法																									
受講人数及び対象者	・62名(受講率100% R元94.6%) ※生振小学校該当者なし ・教職経験8年以下の市内小中学校全教諭(養護教諭、栄養教諭、事務職員、期限付き教諭含む)																									
講義内容	<table border="1"> <tr> <td>必須</td> <td>樽川中</td> <td>青柳真光</td> <td>「変化の時代に生きる教職員に求められること」</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">2講座以上の選択</td> <td>紅南小</td> <td>長坂文彦</td> <td>「GIGAスクール構想について」</td> </tr> <tr> <td>緑苑台小</td> <td>宮本賢一</td> <td>「新型コロナウイルス感染症予防の取組について」</td> </tr> <tr> <td>南線小</td> <td>相原恒一朗</td> <td>「生徒指導(保護者対応)について」</td> </tr> <tr> <td>花川南中</td> <td>稲澤 健</td> <td>「生徒指導(不登校児童生徒対応)について」</td> </tr> <tr> <td>花川中</td> <td>小川琢治</td> <td>「教育相談について」</td> </tr> <tr> <td>花川南小</td> <td>加藤圭介</td> <td>「主体的・対話的で深い学び」に向けての授業づくり」</td> </tr> </table>	必須	樽川中	青柳真光	「変化の時代に生きる教職員に求められること」	2講座以上の選択	紅南小	長坂文彦	「GIGAスクール構想について」	緑苑台小	宮本賢一	「新型コロナウイルス感染症予防の取組について」	南線小	相原恒一朗	「生徒指導(保護者対応)について」	花川南中	稲澤 健	「生徒指導(不登校児童生徒対応)について」	花川中	小川琢治	「教育相談について」	花川南小	加藤圭介	「主体的・対話的で深い学び」に向けての授業づくり」		
必須	樽川中	青柳真光	「変化の時代に生きる教職員に求められること」																							
2講座以上の選択	紅南小	長坂文彦	「GIGAスクール構想について」																							
	緑苑台小	宮本賢一	「新型コロナウイルス感染症予防の取組について」																							
	南線小	相原恒一朗	「生徒指導(保護者対応)について」																							
	花川南中	稲澤 健	「生徒指導(不登校児童生徒対応)について」																							
	花川中	小川琢治	「教育相談について」																							
	花川南小	加藤圭介	「主体的・対話的で深い学び」に向けての授業づくり」																							
アンケート集計結果	・62名(回収率100%) 【ウインターセミナーの講座内容について今後の教育活動に生かせるか】 とても当てはまる : 32名(51.6%) 当てはまる : 30名(48.4%) やや当てはまらない : 0名 当てはまらない : 0名																									
主な感想	「変化の時代に生きる教職員に求められること」 ・「総合的な人間力」の大切さが分かり、私たちは教師である前に一人の人間として子供たちの先を生きている人間として、しっかりしなければならないということを改めて考えさせられた。 ・一般的に言われている「ほう・れん・そう」のみならず、「かく(確認)・れん(連絡)・ぼう(報告)」を大切にすることが重要であることを学んだ。 「GIGAスクール構想について」 ・「個別最適化の学び」と「創造性」が印象に残った。今までの授業の仕方を大きく変えていかなければならないと思った。 ・GIGAスクール構想について改めて理解するとともに、教員の考え方をアップデートしていくべきだと感じた。ICT環境が整備されていく中で、教員一人一人がどのように活用し、授業を深化させていくかということに今後の課題があると思う。個別のハードウェアの導入や、新たなソフトウェアが増えていく中で、宝の持ち腐れになることなく、子どものための教育に使っていきけることが理想であり、従来までの考え方に																									

	<p>とられることなく、時には子どもたちの発想からもアイデアを得ていくような、柔軟な考えを持っていくことも教員に求められていくのだと感じた。</p> <p>「新型コロナウイルス感染症予防の取組について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校によってできること、できないことは違ってきますが、自分の学校でできる最大限の感染予防対策をして、子どもたちや保護者が安心して学校生活をおくれるように努めようと改めて感じた。 ・児童生徒本人に危機感を持たせ、自ら判断して感染症を予防できるようになることが重要だと感じた。特に足跡マークは、水飲み場での密回避を児童生徒が自ら習慣化できるよい取り組みだと感じた。 <p>「生徒指導(保護者対応)について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導の内容の報告をするだけでなく、日々の頑張りを伝えてあげて意識しようと思います。 ・子供の頑張りを伝えるだけでなく、子供が頑張れるように動いた保護者の努力や気遣いについてもねぎらいの言葉をかけられるようにしていきたい。 <p>「生徒指導(不登校児童生徒対応)について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者には寄り添いながら、よき理解者でありたい。保護者も学校にいけない子供を抱え不安で悩んでいるということを忘れずに接していきたいと思う。 ・子供たち同士が互いに褒め合う、認め合う雰囲気を作っていくのが一番ですが、まずは私自身が子供たちのことを褒め、認める言葉を日ごろから意識して積極的に伝えていこうと思った。 <p>「教育相談について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって担任はたった一人の存在です。一人一人特性があり、性格、学力、家庭環境、悩みなど違いがあります。その子にあった適切な指導は、一体どんなことだろうか。きちんと悩みに寄り添っているだろうか。そんなことを考えるきっかけとなりました。 ・相談してよかったと感じてもらうことはそのあとの信頼にもかかわることなので、相談の目的とゴールを意識して真摯に対応をしていかなければならないと思った。 <p>「主体的・対話的で深い学び」に向けての授業づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の中で身に付けたい力を明確にすることで子供は自分自身の力で課題を解決していこうとする姿勢が育まれることを改めて学んだ。 ・「学び合い」の部分が自分の学級には足りないと思った。児童の発言をつなぐ「問い返し」の発問をしていくことが大切であると分かりました。
希望講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの先進的な取組。 ・それぞれの個性をはじき合うのではなく、受け止め、認め合い、みんなのよさを発揮できる学級経営の仕方や考え方を学びたい。 ・通常級に在籍する特別の支援を要する生徒への対応や通級の活用(他都府県や他市町

	<p>村の事例)などの特別支援教育に関する講座を受講したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による感染者が出た場合の対応の仕方。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・これからもオンデマンド方式で実施していただきたい。 ・今回オンデマンド研修の形になったが、時間も場所にも捕らわれずに自分のペースで受講できたので、とてもよかった。また、聞き漏らしを何度も繰り返し再生できたり、パワーポイントの画面で停止してメモしたりと、集合研修よりも学習を深めることができた。また、オンデマンド研修の形になるのであれば、研修内容が素晴らしかったので、8年目以下に限定することなく、誰でも受講できるようになると良い。 ・冬道で交通事故にも不安がある時期の実施で大変困っていたが、今回このようにオンデマンドでの実施が可能であることが分かったので、今後できれば今回の様に会場に行かなくても受講できる形になると遠方でも大変助かる。 ・このような状況下でも、実施していただきありがとうございました。大変勉強になり、本来なら3つの講座しか受講できない予定が、この方法により、全ての先生方の講義を受講することができて嬉しい。冬休み中に、全ての講座を拝見し、勉強したいと考えている。